

工事現場フェンスにアート出現

酒田駅前 芸工大生と光陵高生が協力して制作
開発整備



一部完成したフェンス。酒田駅寄りのスペースには来月、酒田南高生と芸工大生がアートを施す

酒田市と西松建設の共同
出資による「光の海」が事
業主体となり、同市の「R
酒田駅前を進められている

駅周辺整備事業に關し、工
事現場を囲むフェンスにア
ートを施すイベントが、の
ほく、現地で行われた。東
長、教授（現代美術）の指
導で、芸工大生と酒田光陵

北芸術工科大クラフティク
デザイン学科の原高史学科
長、教授（現代美術）の指
導で、芸工大生と酒田光陵

原学科長のセミを履修す
る2、3年生6人と助手2
人が来週、光陵高情報科、
美術部から、2年生計18

高生が協力して窓や初代酒
田灯台、北前船、山居倉庫
をモチーフにした作品を制
作、周囲は華やかな趣にな
った。
イベントは、2020年
10月ごろの先行オープン、
22年4月のグランドオープ
ンに向けて整備が進む事業
に対する市民の機運醸成、
駅前地区にきわぬ創出を
図ろうと、実施主体の「西
松・大場・菅原特定建設工
事共同企業体（JV）」が
社会貢献活動の一環として
企画。市文化芸術推進計画
に基づき市も協力した。



メッセージを書き込んだ灯台の「ともし火」を貼り付ける生徒たち=5日午後

「飛鳥に海上遊園地や海
のサーカスを」「スケート
場をプロジェクションマッ
ピング」「夕暮ラでできる
空間をつくる」など生徒
たちのアイデアはさまざま。
これらのアイデアは、「新
しい風を取り込む、呼び込
む」という願いを込めて原
学科長と学生たちがフェン
スにデザインした「開け放
つた窓」の周囲に文字を配

人が参加。学生・生徒は5
班に分かれて最初、街づく
りに關するワークショップ
を行い、酒田でイベント
をするならどこ何をマ施
設完成後の使い方酒田に
どんな場所があったらいい
かといったところのテーマ
について話した。

置した。
また、学生たちが荒波を
行、北前船、酒田のシンボ
ルとなっている酒田灯台と
山居倉庫などをモチーフに
した図柄をフェンスにカッ
ティングシールで描き、灯
台が照らす「ともし火」一
つ一つの中には参加者全員
でメッセージを書き込み、
周囲に貼り付け。
原学科長は「市民みんな
で創造するフェンス。この
アートをみることで、こ
場所を意識し興味を持って
もらえたら」と話した。11
月には酒田南高の生徒たち
が協力して同様のイベント
が行われる。